

節水社会実験 3年間のあゆみ

節水社会実験開始。市民へ節水を呼び掛ける

2005
平成17年



会員の皆さんに参加していただいた「節水パレード」。7月の暑い昼下がり、皆さんの熱い思いでさらにHOTに！

- 節水ステーションの設置(7月1～31日びふれす広場)
- おでかけ節水広報隊(6月25・26日、7月2・3・9・10日＝ゆめタウンはませんだ、7月16・23・24日＝ゆめタウンサンビアン店)

- 「わくわく節水倶楽部」の設置
- 「節水器具普及協力店制度」の設置(22店舗)
- 節水キャラクター「節水ちゃん」誕生
- 節水テーマソング「10%の思いやり」「節水ソング」の制作

- 広報・PR
 - ・「節水パンフレット」「節水シール」「実験中ポスター」を配布
 - ・節水器具普及協力店に「のぼり旗」の掲示
 - ・「その水、もったいなかです。」のポスター作成
 - ・九州電力、鶴屋百貨店には両社の協力で懸垂幕を設置
 - ・産業文化会館壁面には南九州コカ・コーラの協力で看板を設置
 - ・市役所南側横に「四角柱」を設置
 - ・市役所1階ロビー、総合支所、市民センターで毎日、実験結果とわくわく節水倶楽部の入会者数を公表し、「節水コーナー」も設置
 - ・「節水テーマソング CD」を会員希望者に配布
 - ・ごみ収集車による広報(7月1～31日の収集日)
 - ・節水社会実験広報テレビCM放送(6月24～7月20日、39本・民放4社)

- 各種イベント
 - ・節水社会実験広報開始式(6月9日、市役所5階秘書会議室)
 - ・プレ節水社会実験(6月24～30日、市役所)
 - ・節水社会実験開始式(7月1日、びふれす広場)
 - ・節水パレード(7月18日、上・下通)
 - ・サマーファッションコンテストとタイアップ(7月9日、びふれす広場)
 - ・ゆかた祭りへの参加(7月16日、城見町通り)
 - ・帯山校区夏祭りへ参加(7月30日、帯山小グラウンド)

わくわく節水倶楽部の加入状況
延べ構成人数 11万5,573人
[100団体、214事業所、
110行政機関、434個人(世帯)]

<10月末現在>

目標値に対し期間平均値

2.3%削減

目標達成日数

1日

2006
平成18年

「その水 もったいなかですよ」を合言葉に

- 「節水社会実験広報紙」を全戸配布(6月)
- わくわく節水倶楽部会報誌「Sessui」Vol.1,2を発行(7,11月)
- 広報・PR

- ・「節水シール」「実験中ポスター」「節水うちわ」を配布
- ・節水器具普及協力店に「のぼり旗」の掲示
- ・「その水、もったいなかですよ。」のポスター作成
- ・九州電力、鶴屋百貨店には両社の協力で懸垂幕を設置
- ・産業文化会館壁面には南九州コカ・コーラの協力で看板を設置
- ・市役所南側横に「四角柱」を設置
- ・市役所1階ロビー、総合支所、市民センターで毎日、実験結果とわくわく節水倶楽部の入会者数を公表し、「節水コーナー」も設置
- ・「節水テーマソング CD」を会員希望者に配布
- ・ごみ収集車による広報(7月1～31日の収集日)
- ・節水社会実験広報テレビCM放送(6月24～7月20日、39本・民放4社)

- 各種イベント
 - ・節水社会実験開始式(7月1日、びふれす広場)
 - ・「環境の日イベント」への参加(6月4日、びふれす広場)
 - ・「くまもと環境フェア2006」での啓発(10月21・22日、熊本市動物園・植物ゾーン)

わくわく節水倶楽部の加入状況
延べ構成人数 12万8,745人
[126団体、237事業所、
111行政機関、668個人(世帯)]

<10月末現在>

目標値に対し期間平均値

3.1%削減

目標達成日数

4日



2007
平成19年

「とめる、ためる、やってみる」で目標値を目指す

- わくわく節水倶楽部会報誌「Sessui」Vol.3,4を発行(6,11月)
- 「わくわく節水キャンペーン2007」の実施
- 節水チャレンジ小学校の実施(5月末から節水コマの取り付けや節水チャレンジ学習を実施)
- 中学生節水アイデア募集の実施(7月2日～9月7日)
- 広報・PR

- ・「節水シールシート」「実験中ポスター」「節水うちわ」「節水ミニブック」を配布
- ・節水器具普及協力店に「のぼり旗」の掲示
- ・「とめる、ためる、やってみる。」のポスター作成
- ・九州電力、鶴屋百貨店には両社の協力で懸垂幕を設置
- ・産業文化会館壁面には南九州コカ・コーラの協力で看板を設置
- ・市役所北側に「四角柱」を設置
- ・市役所1階ロビー、総合支所、市民センターで毎日、実験結果とわくわく節水倶楽部の入会者数を公表し、「節水コーナー」も設置
- ・節水テーマソング CD を市内の全小学校と全保育園に配布
- ・ごみ収集車による広報(7月2～12日、7月30、31日の収集日)
- ・節水社会実験広報テレビCM放送(7月13～31日・民放4社)

- 各種イベント
 - ・節水社会実験開始式(7月1日、びふれす広場)
 - ・「ごみゼロキャンペーン」への参加(5月30日、びふれす広場)
 - ・「環境の日イベント」への参加(6月3日、びふれす広場)
 - ・「城下町くまもとゆかた祭り」への参加(7月21日)

わくわく節水倶楽部の加入状況
延べ構成人数 13万5,858人
[130団体、280事業所、
111行政機関、926個人(世帯)]

<10月末現在>

目標値に対し期間平均値

7.0%削減

目標達成日数

9日

10%の目標には届かなかったものの、会員の皆さんの節水への思いが年々高まっていることが伝わる結果でした。

水は大切な資源。社会実験が終わっても節水を

とにかくこの3年間、水道水の使用量が増える7月の1カ月間、「水の無駄遣いをやめましょう」と呼び掛け、その徹底に努めました。削減率は、05年度の2.3%、06年度の3.1%、本年度の約7.0%と目標の10%には達しなかったものの市民の節水意識は確実に高まっていると思われます。私たちは日々の暮らしの中で、洗顔、洗濯、調理、洗い物などで水

を無駄に使ってもあまり心苦しく思いません。なぜなら、使われた水は目にする時間が短いからです。水はむやみに使い過ぎれば必ず、枯渇する資源です。「水は大切な資源」という感覚を一人一人が持つことがこれからの社会に求められることです。節水社会実験が終わったこれからが大事になってきます。



熊本市節水推進パートナーシップ会議議長
(熊本県立大学環境共生学部教授) 篠原亮太さん

お問い合わせ

わくわく節水倶楽部事務局

〒860-8601 熊本市手取本町1-1 熊本市役所 水保全課内

TEL 096(328)2436 FAX 096(359)9945

Mail: mizuhozen@city.kumamoto.lg.jp



節水キャラクター
節水ちゃん

わくわく節水倶楽部 会報誌

Sessui

セッスイ

2007年11月
Vol.4

節水社会実験終了 皆様のご参加ありがとうございました！

昨年度は、目標値に対し期間平均値で

3.1%削減という結果でしたが、

今年度は**約7%削減**へと伸びが見られました。

期 間	平成19年7月1日～31日
テ ー マ	私たち市民はどこまで節水できるか
キャッチフレーズ	「とめる、ためる、やってみる。」
目 標 値	市民一人一日当たり生活用水使用量230リットル (平成14年度年平均値254リットルから10%削減)
参 加 者	熊本市民

活動の経過

5月27日～7月8日

節水チャレンジ小学校への節水コマのとりつけ(6校)

6月8日～6月21日

節水チャレンジ小学校での節水チャレンジ学習実施(7校)

6月20日～

わくわく節水倶楽部 第3号会報誌発送

7月1日

節水社会実験開始式

7月2日～

「わくわく節水キャンペーン2007」応募受付開始(10/5まで)

7月2日～9月7日

中学生節水アイデア募集

7月21日

ゆかた祭り「節水PRうちわ」の配布

7月31日

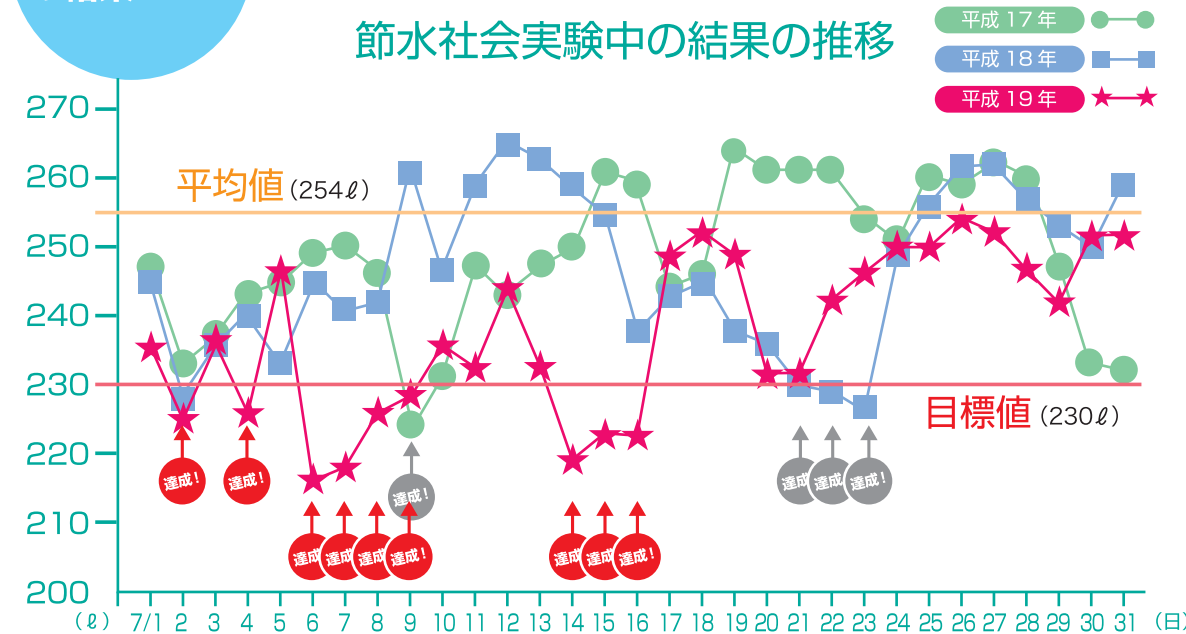
節水社会実験終了



▲節水社会実験開始式で節水テーマソングを合唱する頃台小学校4年生のみなさん



節水社会実験の結果



□平成19年度結果□

今年度の節水社会実験は目標値(10%削減)に対し、約7.0%の削減という結果でした。これは、昨年度の3.1%削減という記録と比較すると、かなりの好成績とされます。今年度の傾向として、平均値(平成14年度年平均値254ℓ)以上になった日が1日も無かったことも、とても喜ばしい結果でした。また、昨年度10%削減に達成した日は、4日でしたが、今年度は、9日が目標達成となりました。

わくわく節水倶楽部の加入者も昨年度から1万人以上増加しており、市民の皆様の節水行動が着実に広がりを見せています。

なお、期間中の結果の推移については、左記をご参照ください。

これからも、ずっと”節水”にご協力をお願いします！